

平成30年度 教育総務部 方針書

教育総務部長 栗田 律子

1. 部の使命（役割）

「楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり」の実現に向けて、子どもから大人まで一人一人がふるさと横手に愛着と誇りを持って、自らを高め、未来を切り拓いていけるよう「後方支援」を行う。

2. 平成30年度における課題（前年度の振り返りから）

- ・十文字地域小学校統合事業の推進と学校施設長寿命化改良事業の継続実施
- ・情報活用能力育成のための環境整備
- ・子どものみならず、幅広い世代を対象とした読書文化の振興
- ・文化財のさらなる活用

3. 平成30年度の『スローガン』

「笑顔は仕事の潤滑油」—いつも笑顔で元気よく！

4. 年度目標となる方針（目標）

- ・安全で安心して学べる教育環境の整備を行っていく
- ・より良い読書環境を整え支援していく
- ・地域の歴史的文化的資産の調査・保存・活用を進めていく

5. 重点取組項目

(1)	項目	安全で安心して学べる教育環境の整備
	取組内容	・十文字地域小学校統合の建設に向けた実施設計と敷地造成の円滑な推進 ・増田中学校校舎等長寿命化改良事業のうち特別教室棟工事の着実な実施と完成 ・大雄小学校と山内小学校の吊天井解消のための改修工事の実施 ・公衆無線LAN環境整備事業の円滑な実施による小中学校の教育情報環境の改善
(2)	項目	図書館サービスの更なる充実と読書活動サポートの実施
	取組内容	・子ども読書活動推進計画第2次計画(H31～H35)の策定 ・郷土資料の収集・保存とその活用 ・地域ごとに特色のある図書館づくりの検討 ・幅広い世代を対象とした読書活動への支援策の検討
(3)	項目	埋蔵文化財発掘調査の推進及び文化的資産の保護と活用
	取組内容	・ふるさとの再発見と郷土学習の更なる推進 ・後三年合戦関連遺跡調査の継続 ・文化財の指定・登録・保存のための調査と活用 ・開発行為にかかる文化財発掘調査の実施と成果の周知

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況【現状】

(1)安全で安心して学べる教育環境の整備

- ・十文字地域小学校統合事業・・・5月下旬に「校舎整備等検討委員会」を開催して、実施設計に向けた検討を行った。また、8月初旬には、地域住民等を対象に「事業説明会」を行い、敷地造成工事の内容等について説明した。敷地造成工事は、7月に契約し順調に進んでいる。
- ・増田中学校長寿命化工事・・・6月定例会で工事請負契約議案可決⇒管理・特別教室棟改修工事に着手し、順調に進んでいる。
- ・小中学校無線LAN環境整備・・・プロポーザルにより業者選定、9月初旬に契約・着手した。

(2)図書館サービスの更なる充実と読書活動サポートの実施

- ・4月下旬に寄贈いただいた「故むのたけじ氏」の蔵書等の整理作業を5月から進めている。（エクセル入力による簡易データ作成等終了）
- ・各図書館の老朽化及び横手図書館が抱える課題等を踏まえ、今後の市立図書館の方向性について、7月から内部検討を進めている。

(3)埋蔵文化財発掘調査の推進及び文化的資産の保護と活用

- ・ほ場整備に係る発掘調査・・・2カ所について、5月から調査を開始。栄東部の「堀ノ内遺跡」は7月末までに現地調査完了。田ノ植の「館尻遺跡」についても、9月末までに現地調査を完了した。
- ・「横手を学ぶ郷土学」事業の一環として、今年度も「横手市創作子ども歌舞伎」を、浅舞小学校を会場に上演した。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

(1)について

- ・十文字地域小学校統合事業・・・6月の「校名選考委員会」の結果を受けて、12月定例会に条例改正案を提案し、校名等を正式決定させる。通学路の安全対策の課題について、次年度予算に向けて関係部局と協議していく。

(2)について

- ・「故むのたけじ氏」の寄贈資料について、展示に向けた企画立案と整理作業を進め、年度内公開を目指していく。
- ・横手駅東口市街地再開発事業における公共施設整備の庁内検討会に加わり、検討を進めていく。

(3)について

- ・ほ場整備の現地調査が完了したため、10月から「後三年合戦関連遺跡発掘調査」として、昨年度から引き続いて金沢柵推定地（権五郎塚周辺）の調査を実施する。
- ・「横手を学ぶ郷土学」事業の一環として、子ども伝統芸能発表大会を10月に、「発酵伝承ワークショップ」を11月に開催する。また、子ども歌舞伎については、10月28日に平泉町中尊寺本堂でも上演できることになった。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

(1)安全で安心して学べる教育環境の整備

- ・十文字地域小学校統合事業・・・実施設計が完了。敷地造成工事（第二工区）は繰越となるが、5月末には完了予定であり、平成31年度からの建設工事に向け順調に進んでいる。31年度は、開校準備委員会を設置して準備を進めていく予定。
- ・増田中学校長寿命化工事・・・管理・特別教室棟改修工事が完了し、31年度の普通教室棟・体育館棟改修工事に向け順調に進んでいる。

(2)図書館サービスの更なる充実と読書活動サポートの実施

- ・昨年4月下旬に寄贈いただいた「故むのたけじ氏」の蔵書等の整理作業が進み、3/25から雄物川図書館2階で常設展示を開始した。できるだけ多くの方に見ていただけるような企画、工夫を検討していく。
- ・横手駅東口再開発事業における公益施設整備の検討と併せて検討していた「今後の市立図書館の方向性」について、議会、図書館協議会において説明し、意見をいただいた。来年度以降、具現化に向け検討を進めていく必要がある。

(3)埋蔵文化財発掘調査の推進及び文化的資産の保護と活用

- ・後三年合戦関連遺跡発掘調査・・・10月から11月まで実施した「金沢柵推定地」の調査により、柵列の跡と見られる柱穴を確認。31年度は、その範囲を特定する調査などを行う予定。その結果を見ながら今後の調査方針の決定が必要。また、2月23日～24日、後三年合戦シンポジウムを開催。「奥州藤原氏の縁で広域連携」している大館市長、平泉町長、美郷町教育長にも出席いただき、県内外への情報発信、歴史を通じた連携強化につながった。